

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

釧路管内 釧路町立昆布森小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において講師を招き、アイヌの人たちの歴史・文化等やアイヌ語を由来とする釧路町の地名、釧路町に縁のあるアイヌの人たちについて学ぶ時間を設けるとともに、学習の成果としてアイヌの人たちの文化に関わる資料展示コーナーを設置しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「釧路町難読地名 MAP」を紹介し、アイヌ語と自分たちの住む釧路町の地名との関わりについて児童の興味・関心を高めるとともに、「釧路町に縁のあるアイヌの人たちの歴史・文化等について調べよう」という課題を設定しました。



【外部講師による講話の様子】

(2) 情報の収集

課題の解決に向けて、町教育委員会が作成した「時空旅行～地名の散歩道～」、「アイヌ通送人 吉良平治郎」の動画を視聴し、釧路町とアイヌの人たちの文化の関わりについて学びました。その後、北海道アイヌ教育相談員等の外部講師による講話や、社会見学における吉良平治郎の記念碑や釧路市博物館の訪問等を通して、課題の解決に必要な情報を収集しました。



【社会見学で情報を収集する児童の様子】

(3) 整理・分析

思考ツールを活用し、収集した情報をアイヌの人たちの衣食住などの視点で整理しました。また、分析の過程で、アイヌ語に由来する地名の多さなどから、自分たちの暮らしとアイヌの人たちの文化との関わりを再認識するとともに、アイヌの人たちの服飾や食べ物、音楽などへの関心が高まり、歴史・文化等についてさらに調べたいという思いをもつようになりました。



【全校朝会で学習の成果を発表する児童の様子】

(4) まとめ・表現

全校朝会における学習成果の発表に向けて、1人1台端末を活用し、学んできたことをスライドにまとめ、学級内で中間発表を行い、発表内容を検討しました。その後、全校朝会や参観日で学習の成果を発表するとともに、アイヌの人たちの文化に関わる資料展示コーナーを設置しました。

②児童の感想等

- ・釧路町の地名には、アイヌ語が由来となっているものがあり、1つ1つの名前に意味があることが分かりました。自分もアイヌ語を理解し、話せるようになりたいです。
- ・今回は、釧路町を中心に調べたので、北海道の他の地域では、アイヌの人たちの歴史・文化等がどのように発展したのかを調べてみたいです。

■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に関するアンケートにおいては、「アイヌの人たちの歴史・文化等についてもっと調べたいと思う」と回答した児童の割合が66%から100%に増加するなど、探究的な学びを通して、自分たちの住んでいる地域とアイヌの人たちの歴史・文化等との関わりについて考えたことにより、ふるさと釧路町や北海道に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 今後、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する継続的な指導の充実に向けて、各教科等との関連をより一層図った教育課程を編成する必要があります。